

Hospital Concert

鈴木重子 & ウォン・ウィンツァン
『いのちの調べ』



【日時】 2016年9月16日(金) 17:00~17:40

【場所】 1階ホスピタルストリート



がん研有明病院
THE CANCER INSTITUTE HOSPITAL OF JFCR

【プログラム】

- ♪. アメイジング・グレイス
- ♪. マイ・フェアリット・シングス
- ♪. イマジン
- ♪. 浜辺の歌
- ♪. ゆりかごのうた

など、演奏予定

(当日、曲目が変わることもあります)

【演奏者プロフィール】

鈴木重子（すずきしげこ） <http://www.shigeko.jp/>

ヴォーカリスト。いのちの響きをつむぐ歌い手。
母の腕の中で聴いた子守唄の優しい響きが歌声に触れたはじまり。
幼い頃からピアノや声楽に親しみ、東京大学在学中に本格的にボサノヴァ、
ジャズヴォーカルを学ぶ。司法試験への挑戦とジャズクラブでの活動を
続けながら、自身の歩む道を模索。「本当に好きなことをして、
限りある人生を生きよう」とヴォーカリストの道を選択。
95年デビュー以降、多くの作品を発表。さまざまなジャンルの曲を、
独自のスタイルで表現し、聴き手のこころを静かな場所へといざなう歌声は、
多くの人々から愛されている。すべての生命に響き合う唄を求めて、
学校、病院、福祉施設など分野を越えて活動している。



Wong WingTsan (ウォン・ウィンツァン)

<http://www.satowa-music.com/>

NHK「にっぽん紀行」 Eテレ「こころの時代」テーマ曲でも知られる
ピアニスト、作曲家。1949年神戸で、香港出身の父、日本と中国の
ハーフの母との間に生まれ、1歳より東京で育つ。
19歳からプロとしてジャズ、フュージョンなどを演奏。87年に瞑想の体験を
通して自己の音楽の在り方を確信し、90年よりピアノソロ活動開始。
超越意識で奏でる透明な音色で“瞑想のピアニスト”と呼ばれる。
サトワミュージックより30作近くのCDを発表。命に寄り添い平和への思いを
込めた新譜「光を世界へ ～Yes All Yes～」では初めて作詞も手がけ、
鈴木重子はじめ5人のヴォーカルと、コーラスをフィーチャー。
YouTubeで紹介するミュージックビデオも多くの感動を呼んでいる。



【ホスピタルコンサートのご報告】



長年にわたりホスピタルコンサートにご出演いただいている、ヴォーカリストの鈴木重子さんとピアニストのウォン・ウィンツァンさんのお二人をお迎えしました。開場前からお二人のステージを見るために多くの人が集まり、超満員の状態でコンサートは始まりました。コンサートでは、鈴木重子さんの力強い歌声とウォン・ウィンツァンさんの優しいピアノで、洋楽や童謡など様々な曲を披露してくださいました。多くの方が二人の息の合ったパフォーマンスにとっても感動して聞き入っていらっしゃいました。中でも、ジョン・レノンの『イマジン』の演奏中には、一緒に口ずさんだり、体を揺らしてリズムをとったり、涙ぐんでいる方がいらっしゃり、特に心に響いている様子がうかがえました。コンサート終了時には拍手が鳴りやまず、中にはスタンディングオベーションをされる方がいるほど、大盛況で幕を閉じました。鈴木重子さん、ウォン・ウィンツァンさん、本当にありがとうございました。